



## 乳幼児期の 予防接種

# 年齢別・接種ポイント のまとめ

予防接種は、ワクチンなどを接種することで免疫力をつけ、本物の病気を予防するためのものです。そのため、定められた時期の中で早期に行うことが望ましいのですが、最近、より効果的な接種を行うために法律や制度の改正が続いており、分かりにくい点が多くなっていると思います。

年齢別に接種のポイントをまとめましたので、確認しましょう。

### まずはBCGから

生後3カ月～1歳

乳幼児期に受ける定期予防接種（法律で定められた予防接種）の案内は、生後1カ月～2カ月の間に郵送しています。

### BCG

BCGは結核を予防するためのワクチンです。接種対象は生後6カ月未満なので、なるべく早めの接種をお勧めします。重い副反応を防ぐためには生後3カ月を過ぎ

てからが望ましいです。

○ 次の接種：4週間以上空ける

### 三種混合1期初回

三種混合は百日せき・ジフテリア・破傷風を予防するためのワクチンです。中でも百日せきは、乳児がかかりやすく重くなりやすい病気です。かかると、この予防接種は受けられなくなります。

初回3回は、3～8週間の間隔で接種します。体調を整え、規定の間隔で接種しましょう。

○ 次の接種：1週間以上空ける

### ポリオ(1回目)

次はポリオ(小児マヒ)の予防接種です。2回接種するので、1回目をこのころ受けるようにしましょう。市で集団接種を行いますので、会場と日程を予防接種の案内に同封した予定表や、わが家の健康づくりカレンダー、「広報なりた」などで確認してください。

○ 次の接種：4週間以上空ける

(ポリオ2回目は6週間以上)

### 麻しんと風しんは混合ワクチンに

1歳～1歳6カ月

麻しんはしかと風しん(三日はしか)は、平成18年4月1日から混合ワクチンによる接種となります。

### 麻しん風しん1期

すでに1歳になっている場合

3月末までに麻しん、風しんそれぞれ別のワクチンの接種を済ませてください。

### 3月以降に1歳になる場合

4月1日以降、1歳を過ぎたら早めに混合ワクチンの接種をしましょう。

○ 次の接種：4週間以上空ける

### ポリオ(2回目)

1回目との間隔は6週間以上空けて接種します。

○ 次の接種：4週間以上空ける

三種混合1期を完了しましょう

1歳6カ月～2歳

初回3回目終了後6カ月以上空けて(標準は1年から1年半の間隔で)接種します。

○ 次の接種：1週間以上空ける

### 日本脳炎の予防接種

現在、日本脳炎ワクチンの定期予防接種はお勧めしていません(重症な副反応を起こすおそれがあるため)。流行地へ渡航する場合など、感染するおそれが高く、本人またはその保護者が希望する場合のみ接種しています。新しいワクチンは現在開発中ですが、再開時期は未定です。通常通り接種を行うようになったときは、「広報なりた」でお知らせします。

### そのほかの注意事項

子どもの予防接種には、保護者(親権を行う者または後見人)の同伴が必要です。

予防接種についてくわしくは健康増進課の27-11111へ。

## 接種対象年齢と望ましい年齢 (平成18年4月1日現在)

予防接種名	対象年齢	望ましい年齢(時期)
BCG	生後～6カ月未満	生後3カ月～6カ月未満
三種混合1期初回	生後3カ月～7歳6カ月未満	生後3カ月～1歳未満
三種混合1期追加		初回3回目後1年～1年半
ポリオ	生後3カ月～7歳6カ月未満	生後3カ月～1歳6カ月未満
麻しん風しん1期	1歳～2歳未満	1歳～2歳未満

### 予防接種の間隔

生ワクチンを接種した後は、次の予防接種までに4週間以上、不活性ワクチン・トキソイドを接種した後は、1週間以上空ける必要があります。  
生ワクチン=BCG、ポリオ、麻しん、風しんなど  
不活性ワクチン=百日せき、日本脳炎など  
トキソイド=ジフテリア、破傷風など